

1. 九州の現況

九州は、面積、人口、総生産額ともに全国のほぼ1割を占めており、地形的には山間部が多いほか、海岸線も入り込んで長く、離島も多いなどの特徴を有している。

近年、高速交通時代を迎え、陸上交通においては、九州新幹線が全線開通し、また、高速バス路線等高速交通網の整備が進められている。また、海上交通においても、離島航路に超高速船が就航するなどのスピード化が図られている。一方、航空交通は国内線はもとより国際社会に対応してアジア諸国をはじめとした国際線が開設されている。

〔1〕 旅客輸送の概要

（1） 九州発着旅客流動量（平成29年度）

（ア） 県別旅客流動量 （単位：千人）

輸送機関	福岡		佐賀		長崎		熊本		大分	
	発	着	発	着	発	着	発	着	発	着
JR	234,778.0	234,841.6	18,876.5	18,890.0	15,019.1	15,018.7	23,359.4	23,408.6	22,373.5	22,411.3
民鉄	289,198.0	289,199.2	865.6	870.3	20,384.3	20,378.5	14,671.6	14,637.7	199.0	199.0
自動車	321,848.8	321,978.6	24,398.2	24,705.5	100,663.5	100,410.7	45,761.7	45,832.0	27,925.3	28,032.3
旅客船	3,195.4	3,169.1	564.1	564.5	5,603.8	5,697.1	526.8	511.6	715.9	707.3
航空	8,895.5	8,830.1	279.0	282.1	1,647.6	1,657.7	1,502.0	1,514.6	838.0	834.2
計	857,915.7	858,018.6	44,983.4	45,312.4	143,318.3	143,162.7	85,821.4	85,904.5	52,051.6	52,184.1

輸送機関	宮崎		鹿児島		九州				全国		九州/全国(%)
	発	着	発	着	発	着	発＋着	シェア(%)	発＋着	シェア(%)	
JR	8,469.8	8,465.9	22,191.5	22,177.9	345,067.8	345,214.0	690,281.8	26.2%	18,626,167.0	30.0%	3.7%
民鉄	0.0	0.0	11,450.4	11,484.3	336,768.9	336,769.0	673,537.9	25.6%	30,969,126.0	49.9%	2.2%
自動車	22,650.7	22,619.5	59,132.7	59,176.6	602,380.9	602,755.2	1,205,136.1	45.7%	12,169,928.0	19.6%	9.9%
旅客船	147.7	154.2	4,976.0	4,973.4	15,729.7	15,777.2	31,506.9	1.2%	144,782.8	0.2%	21.8%
航空	1,446.6	1,444.0	3,217.3	3,222.1	17,826.0	17,784.8	35,610.8	1.4%	204,238.2	0.3%	17.4%
計	32,714.8	32,683.5	100,968.0	101,034.3	1,317,773.3	1,318,300.2	2,636,073.5	100.0	62,114,242.0	100.0	4.2%

(イ) 地域間旅客流動量

発地		北九州						南九州						九州計						(単位:千人)	
		JR	民鉄	自動車	旅客船	航空	計	JR	民鉄	自動車	旅客船	航空	計	JR	民鉄	自動車	旅客船	航空	計		
着地	北九州	250,153.9	310,448.0	444,028.2	8,633.1	410.8	1,013,674.0	6,776.1	0.0	2,208.4	217.3	326.5	9,528.3	256,930.0	310,448.0	446,236.6	8,850.4	737.3	1,023,202.3		
	南九州	6,708.5	0.0	2,012.7	233.5	326.1	9,280.8	67,981.2	26,321.0	153,349.9	5,752.6	808.0	254,212.7	74,689.7	26,321.0	155,362.6	5,986.1	1,134.1	263,493.5		
	九州計	256,862.4	310,448.0	446,040.9	8,866.6	736.9	1,022,954.8	74,757.3	26,321.0	155,558.3	5,969.9	1,134.5	263,741.0	331,619.7	336,769.0	601,599.2	14,836.5	1,871.4	1,286,695.8		
	沖縄	0.0	0.0	0.0	0.0	1,016.3	1,016.3	0.0	0.0	0.0	42.4	197.6	240.0	0.0	0.0	0.0	42.4	1,213.9	1,256.3		
	四国	159.8	0.0	19.1	33.5	116.9	329.3	42.2	0.0	0.0	171.9	7.3	221.4	202.0	0.0	19.1	205.4	124.2	550.7		
	中国	6,319.0	0.0	896.5	344.3	17.4	7,577.2	505.3	0.0	77.6	7.4	0.0	590.3	6,824.3	0.0	974.1	351.7	17.4	8,167.5		
	近畿	3,877.3	0.0	100.7	185.1	897.6	5,060.7	867.6	0.0	21.4	154.8	1,342.1	2,385.9	4,744.9	0.0	122.1	339.9	2,239.7	7,446.6		
	中部	902.9	0.0	19.9	0.0	857.5	1,780.3	191.6	0.0	3.2	0.0	454.0	648.8	1,094.5	0.0	23.1	0.0	1,311.5	2,429.1		
	関東	615.9	0.0	17.5	1.2	6,668.5	7,303.1	97.4	0.0	0.0	0.0	3,879.4	3,976.8	713.3	0.0	17.5	1.2	10,547.9	11,279.9		
	東北	12.8	0.0	0.0	0.0	168.0	180.8	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	15.0	0.0	0.0	0.0	168.0	183.0		
	北海道	0.2	0.0	0.0	0.0	290.6	290.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	290.6	290.9		
	九州以外計	11,887.9	0.0	1,053.7	564.1	10,032.8	23,538.5	1,706.4	0.0	102.2	376.5	5,880.4	8,065.5	13,594.3	0.0	1,155.9	940.6	15,913.2	31,604.0		
	計	268,750.3	310,448.0	447,094.6	9,430.7	10,769.7	1,046,493.3	76,463.7	26,321.0	155,660.5	6,346.4	7,014.9	271,806.5	345,214.0	336,769.0	602,755.1	15,777.1	17,784.6	1,318,299.8		

(九州着)

着地 発地		北九州						南九州						九州計					
		JR	民鉄	自動車	旅客船	航空	計	JR	民鉄	自動車	旅客船	航空	計	JR	民鉄	自動車	旅客船	航空	計
北九州		250,153.9	310,448.0	444,028.2	8,633.1	410.8	1,013,674.0	6,708.5	0.0	2,012.7	233.5	326.1	9,280.8	256,862.4	310,448.0	446,040.9	8,866.6	736.9	1,022,954.8
南九州		6,776.1	0.0	2,208.4	217.3	326.5	9,528.3	67,981.2	26,321.0	153,349.9	5,752.6	808.0	254,212.7	74,757.3	26,321.0	155,558.3	5,969.9	1,134.5	263,741.0
九州計		256,930.0	310,448.0	446,236.6	8,850.4	737.3	1,023,202.3	74,689.7	26,321.0	155,362.6	5,986.1	1,134.1	263,493.5	331,619.7	336,769.0	601,599.2	14,836.5	1,871.4	1,286,695.8
沖縄		0.0	0.0	0.0	0.0	1,017.7	1,017.7	0.0	0.0	0.0	41.6	197.6	239.2	0.0	0.0	0.0	41.6	1,215.3	1,256.9
四国		158.6	0.0	17.2	30.1	117.4	323.3	40.8	0.0	0.0	174.5	7.4	222.7	199.4	0.0	17.2	204.6	124.8	546.0
中国		6,192.6	0.0	524.1	296.9	18.2	7,031.8	499.5	0.0	83.5	8.0	0.0	591.0	6,692.1	0.0	607.6	304.9	18.2	7,622.8
近畿		3,865.9	0.0	97.1	184.5	905.0	5,052.5	869.9	0.0	20.8	156.2	1,335.8	2,382.7	4,735.8	0.0	117.9	340.7	2,240.8	7,435.2
中部		901.2	0.0	18.1	0.0	867.0	1,786.3	191.7	0.0	3.2	0.0	453.5	648.4	1,092.9	0.0	21.3	0.0	1,320.5	2,434.7
関東		613.3	0.0	17.6	1.3	6,705.7	7,337.9	100.5	0.0	0.0	0.0	3,875.4	3,975.9	713.8	0.0	17.6	1.3	10,581.1	11,313.8
東北		12.0	0.0	0.0	0.0	170.5	182.5	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	14.0	0.0	0.0	0.0	170.5	184.5
北海道		0.0	0.0	0.0	0.0	283.3	283.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	283.3	283.4
九州以外計		11,743.6	0.0	674.1	512.8	10,084.8	23,015.3	1,704.5	0.0	107.5	380.3	5,869.7	8,062.0	13,448.1	0.0	781.6	893.1	15,954.5	31,077.3
計		268,673.6	310,448.0	446,910.7	9,363.2	10,822.1	1,046,217.6	76,394.2	26,321.0	155,470.1	6,366.4	7,003.8	271,555.5	345,067.8	336,769.0	602,380.8	15,729.6	17,825.9	1,317,773.1

(注)1.四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。
2.自家用旅客自動車(登録自動車・軽自動車)を除く。

3.「北九州」は、福岡、佐賀、長崎。「南九州」は、熊本、大分、宮崎、鹿児島。「沖縄」は、沖縄。「四国」は、徳島、香川、愛媛、高知。「中国」は、鳥取、島根、岡山、広島、山口。「近畿」は、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山。「中部」は、富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重、新潟、山梨、長野。「関東」は、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川。「東北」は、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島。「北海道」は北海道。

資料:国土交通省「平成29年度 旅客地域流動調査」

(2) 九州の輸送機関別旅客輸送人員

輸送機関	九 州 (百万人)			全 国 (百万人)			九州／全国 (29年度) (%)
	28年度	29年度	対前年比 (%)	28年度	29年度	対前年比 (%)	
鉄 道 計	660	673	102.0%	24,598	24,973	101.5%	2.7%
J R	332	337	101.5%	9,392	9,488	101.0%	3.6%
民 鉄	329	336	102.1%	15,206	15,485	101.8%	2.2%
自動車計	662	658	99.4%	6,035	6,085	100.8%	10.8%
バ ス	489	490	100.2%	4,583	4,640	101.2%	10.6%
〃 (営業用)	489	490	100.2%	4,583	4,640	101.2%	10.6%
〃 (自家用)	－	－	－	－	－	－	－
乗 用 車	173	168	97.1%	1,452	1,445	99.5%	11.6%
〃 (営業用)	173	168	97.1%	1,452	1,445	99.5%	11.6%
〃 (自家用)	－	－	－	－	－	－	－
航 空	34	36	105.9%	98	102	104.1%	35.3%
船 舶	22	21	95.5%	88	88	100.0%	23.9%
総 合 計	1,378	1,388	100.7%	30,819	31,248	101.4%	4.4%

- (注) 1.自動車は、軽自動車及び貨物自動車による輸送分を含まない。
2.民鉄は、地方鉄道、軌道(公営含む)、鋼索鉄道である。
3.自動車輸送統計調査について、平成22年度より自家用輸送に関する調査は廃止されたため、計上しない。

(3) 九州の輸送機関別旅客輸送人員の推移

(単位:百万人)

年度 輸送機関	50	55	60	2	7	12	17	22	25	26	27	28	29
J R	322 (100)	276 (86)	247 (77)	278 (86)	321 (100)	306 (95)	293 (91)	298 (93)	324 (101)	320 (99)	331 (103)	332 (103)	337 (105)
民 鉄	320 (100)	262 (82)	300 (94)	324 (101)	335 (105)	302 (94)	287 (90)	292 (91)	311 (97)	314 (98)	326 (102)	329 (103)	336 (105)
バ ス	1,206 (100)	1,173 (97)	1,006 (83)	947 (79)	841 (70)	771 (64)	694 (58)	499 (41)	500 (41)	493 (41)	495 (41)	489 (41)	490 (41)
(営バス)	1,053 (100)	1,037 (98)	845 (80)	763 (72)	676 (64)	590 (56)	546 (52)	499 (47)	500 (47)	493 (47)	495 (47)	489 (46)	490 (47)
乗 用 車	1,838 (100)	2,712 (148)	2,908 (158)	3,601 (196)	3,934 (214)	4,271 (232)	4,350 (237)	196 (11)	193 (11)	181 (10)	178 (10)	173 (9)	168 (9)
(ハイタク)	470 (100)	477 (101)	402 (86)	419 (89)	327 (70)	263 (56)	251 (53)	196 (42)	193 (41)	181 (39)	178 (38)	173 (37)	168 (36)
航 空	10 (100)	16 (160)	17 (170)	23 (230)	29 (290)	33 (330)	31 (310)	29 (290)	33 (330)	34 (340)	34 (340)	34 (340)	36 (360)
船 舶	41 (100)	36 (88)	35 (85)	39 (95)	36 (88)	32 (78)	26 (63)	22 (54)	23 (56)	23 (56)	23 (56)	22 (54)	21 (51)
合 計	3,737 (100)	4,475 (120)	4,513 (121)	5,212 (139)	5,496 (147)	5,715 (153)	5,681 (152)	1,336 (36)	1,384 (37)	1,365 (37)	1,387 (37)	1,379 (37)	1,388 (37)

(注) 1. ()は50年度を100とした指数である。

2. JRの60年度までは旧国鉄の実績である。

民鉄は、地方鉄道、軌道(公営含む)、鋼索鉄道である。

3. 自動車輸送統計調査は、平成22年度より調査方法及び集計方法を変更したため、21年度以前とは連続しない。

自家用輸送に関する調査は廃止されたため、営業用乗合(バス)と営業乗用車(タクシー等)の数値を掲載する。

資料: 鉄道 「鉄道輸送統計年報 平成30年度分」、「九州運輸要覧 平成30年度版」

バス 「九州運輸要覧 平成30年度版」、「国土交通省(自動車輸送統計)平成29年度版」

「国土交通省(交通関連統計資料集)平成29年度」

航空 「航空輸送統計年報 平成29年版」

船舶 「国土交通省 海事レポート令和元年版」、「九州運輸要覧 平成30年度版」

〔2〕貨物輸送の概況

（1）九州の貨物輸送量

（単位：千トン）

	九 州			全 国			九州／全国 (29年度) (%)
	28年度	29年度	対前年度比 (%)	28年度	29年度	対前年度比 (%)	
鉄 道	5,726	6,005	104.9%	44,089	45,170	102.5%	13.3%
自 動 車	485,192	456,342	94.1%	4,357,994	4,102,722	94.1%	11.1%
営業用	356,629	350,215	98.2%	2,999,112	3,011,702	100.4%	11.6%
自家用	128,563	106,127	82.5%	1,358,882	1,091,020	80.3%	9.7%
内航海運(営業用)	130,561	130,396	99.9%	363,130	358,664	98.8%	36.4%
総 計	621,479	592,743	95.4%	4,765,213	4,506,556	94.6%	13.2%

資料： 鉄 道 国土交通省「鉄道輸送統計年報 平成29年度分」
九州運輸局月例報告書「九州のうんゆ」
自 動 車 国土交通省「交通関連統計資料集 平成29年度」
内航海運 国土交通省「内航船舶輸送統計年報 平成29年度」

（2）県別貨物輸送量(平成29年度)

（単位：千トン）

	自 動 車			
	営業用	自家用	計	構成比
福 岡	136,438	31,143	167,581	36.7%
佐 賀	30,280	7,837	38,117	8.4%
長 崎	25,194	8,979	34,173	7.5%
熊 本	45,789	17,844	63,633	13.9%
大 分	30,959	10,485	41,444	9.1%
宮 崎	32,835	12,755	45,590	10.0%
鹿児島	48,720	17,084	65,804	14.4%
計	350,215	106,127	456,342	100.0%

資料： 国土交通省「交通関連統計資料集 平成29年度」

(3) 九州発着貨物流動表
(7) 貨物流動量(地域別・輸送機関別)

(九州発)

(平成29年度)

(単位：千トン)

発地 機関	北九州				中九州				南九州				九州計			
	鉄道	海運	自動車	航空	計	鉄道	海運	自動車	航空	計	鉄道	海運	自動車	航空	計	計
着地																
北九州	62	6,331	202,652	0	209,045	7	4,081	8,869	0	12,957	14	322	3,401	0	3,736	1
中九州	24	2,463	9,904	0	12,391	1	3,726	84,169	0	87,896	3	481	3,137	0	3,621	0
南九州	25	971	7,087	0	8,083	2	2,358	2,623	0	4,983	1	3,641	94,257	1	97,900	1
九州計	111	9,764	219,644	1	229,520	10	10,164	95,662	0	105,836	17	4,444	100,795	1	105,258	2
沖縄	0	2,113	0	11	2,124	0	199	0	0	199	0	982	0	1	984	12
四国	30	1,568	1,470	0	3,068	4	2,243	238	0	2,486	6	481	234	0	722	0
中国	63	3,925	10,435	0	14,424	11	12,780	484	0	13,275	20	7,526	297	0	7,843	95
近畿	254	10,335	4,700	2	15,291	45	4,098	790	1	4,934	60	6,619	1,192	2	7,873	360
中部	386	5,300	1,777	2	7,464	119	5,209	185	0	5,513	69	457	374	0	900	574
関東	734	8,828	1,932	106	11,601	95	2,950	552	15	3,611	128	9,744	152	23	10,047	957
東北	83	709	120	0	912	17	123	0	0	141	20	112	81	0	213	120
北海道	58	171	0	3	232	15	84	0	0	98	10	44	10	0	64	82
九州以外計	1,608	32,948	20,435	123	55,114	307	27,686	2,249	16	30,257	314	25,966	2,340	27	28,646	2,228
合 計	1,719	42,713	240,079	124	284,634	317	37,850	97,911	16	136,093	331	30,410	103,135	28	133,904	2,366

(九州着)

(単位：千トン)

着地 機関	北九州				中九州				南九州				九州計			
	鉄道	海運	自動車	航空	計	鉄道	海運	自動車	航空	計	鉄道	海運	自動車	航空	計	計
発地																
北九州	62	6,331	202,652	0	209,045	24	2,463	9,904	0	12,391	25	971	7,087	0	8,083	1
中九州	7	4,081	8,869	0	12,957	1	3,726	84,169	0	87,896	2	2,358	2,623	0	4,983	10
南九州	14	322	3,401	0	3,736	3	481	3,137	0	3,621	1	3,641	94,257	1	97,900	17
九州計	83	10,733	214,923	1	225,739	28	6,670	97,211	0	103,908	28	6,970	103,967	1	110,966	138
沖縄	0	594	34	7	635	0	10	0	0	10	0	92	0	0	92	0
四国	25	2,655	2,246	0	4,926	1	798	172	0	972	3	513	267	0	784	30
中国	103	10,348	5,853	0	16,304	13	2,429	1,470	0	3,912	29	2,276	183	0	2,488	146
近畿	524	6,018	4,805	2	11,349	35	3,926	1,375	1	5,336	38	829	949	1	1,816	597
中部	810	4,685	2,249	1	7,745	115	1,234	116	0	1,466	48	990	266	0	1,305	973
関東	1,275	9,140	1,860	77	12,352	91	1,153	476	7	1,727	70	742	257	6	1,074	1,436
東北	184	171	69	0	425	34	69	2	0	106	17	244	0	0	21	235
北海道	151	148	1	0	299	39	170	0	0	208	31	18	3	0	51	220
九州以外計	3,072	33,759	17,116	88	54,036	329	9,789	3,611	8	13,737	237	5,464	1,924	8	7,632	3,637
合 計	3,155	44,492	232,039	89	279,774	356	16,459	100,822	8	117,646	265	12,434	105,891	9	118,598	3,776

資料：国土交通省「貨物地域流動調査」(調査対象貨物等詳細については、「貨物地域流動調査の概要」を参照のこと)

注) 1. 地域区分…「北九州」：福岡、佐賀、長崎 「中九州」：熊本、大分 「南九州」：宮崎、鹿児島

「四国」：香川、愛媛、徳島、高知 「中国」：山口、広島、岡山、島根、鳥取

「近畿」：兵庫、大阪、和歌山、奈良、京都、滋賀

「中部」：三重、愛知、岐阜、静岡、福井、石川、富山

「関東」：千葉、東京、神奈川、長野、山梨、新潟、埼玉、群馬、栃木、茨城

「東北」：山形、秋田、福島、宮城、岩手、青森

2. 四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

3. 「鉄道」は日本貨物鉄道が輸送した車扱貨物及びコンテナ貨物を計上。

4. 「海運」は平成29年(暦年)の値であり、フェリー(自動車航送船)により輸送された自動車及びその積荷を含まない。

5. 「自動車」の数値は、自家用貨物のうち、軽きゆう車及び自家用軽自動車を含まない。

(イ) 県別・輸送機関別(平成29年度)

(単位:千トン)

機関別	県別 発着	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	(対全国比) 九州計	山口	(対全国比) 合計	全国計
鉄道	発	1,342	350	26	233	84	127	204	(7.5%) 2,366	472	(9.0%) 2,838	31,417
	着	2,488	632	35	274	82	97	168	(12.0%) 3,776	302	(13.0%) 4,077	
海運	発	35,745	1,159	5,809	1,341	36,509	1,559	28,852	(21.6%) 110,973	42,233	(29.8%) 153,205	514,024
	着	36,012	1,415	7,064	3,846	12,613	3,764	8,670	(14.3%) 73,384	30,699	(20.2%) 104,083	
自動車	発	153,769	37,005	49,306	59,374	38,537	46,639	56,496	(10.1%) 441,125	63,657	(11.5%) 504,782	4,381,246
	着	147,914	31,028	53,097	61,111	39,711	47,939	57,952	(10.0%) 438,752	65,524	(11.5%) 504,276	
合計	発	190,855	38,514	55,141	60,948	75,130	48,324	85,551	(11.3%) 554,464	106,362	(13.4%) 660,825	4,926,687
	着	186,414	33,076	60,196	65,231	52,406	51,800	66,790	(10.5%) 515,912	96,524	(12.4%) 612,436	

(ウ) 県別・地域別(平成29年度)

(単位：千トン)

地域 発着	九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北	北海道	沖縄	合計
福岡	発 着	140,845 139,246	2,714 4,645	8,908 14,042	14,083 9,301	7,073 6,717	10,960 11,621	716 351	162 226	1,948 266
佐賀	発 着	35,364 30,220	181 170	1,419 991	556 841	245 311	332 417	18 68	20 56	67 1
長崎	発 着	53,310 56,273	173 112	108 1,271	649 1,205	145 716	204 237	178 5	47 17	97 360
熊本	発 着	58,983 61,147	137 266	421 1,896	308 1,111	263 194	660 548	27 26	12 34	24 10
大分	発 着	46,853 42,762	2,349 706	63 2,016	4,625 4,225	5,249 1,271	2,937 1,172	114 80	86 175	174 0
宮崎	発 着	45,818 48,599	317 260	110 909	1,040 1,060	352 271	361 681	93 7	16 10	0 3
鹿児島	発 着	59,439 62,367	404 523	187 1,579	6,830 755	548 1,033	9,662 387	120 14	49 41	983 89
九州計	発 着	440,612 440,612	6,275 6,681	11,216 22,704	28,093 18,498	13,875 10,514	25,115 15,063	1,265 552	392 559	3,294 730
山口	発 着	12,633 7,150	3,786 190	55,357 55,488	10,450 1,309	4,908 346	7,413 2,967	566 265	231 275	431 0
合計	発 着	453,245 447,761	10,061 6,872	66,573 78,192	38,543 19,807	18,783 10,859	32,528 18,030	1,831 817	623 834	3,725 730

資料：国土交通省「貨物地域流動調査」(調査対象貨物等詳細については、「貨物地域流動調査の概要」を参照のこと)

注) 1. 航空貨物輸送量は含まない。

2. 四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

3. 「鉄道」は日本貨物鉄道が輸送した車扱貨物及びコンテナ貨物を計上。

4. 「海運」は平成28年(暦年)の値であり、フェリー(自動車航送船)により輸送された自動車及びその積荷を含まない。

5. 「自動車」の数値は、自家用貨物のうち、霊きゅう車及び自家用軽自動車を含まない。

(工) 輸送品目別地域間貨物輸送量(平成29年度)

(単位：千トン)

品目	地域 発着		九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北	北海道	沖縄	計	全国計	対全国比 (%)
	九州	発着	24,374	106	398	628	404	199	46	0	301	26,457	235,418	11.2
農水産品		着	24,374	80	142	313	364	846	4	33	16	26,172	235,418	11.1
林産品	九州	発着	19,122	410	330	64	117	98	1	0	43	20,185	139,840	14.4
		着	19,122	44	217	116	68	23	0	8	0	19,600	139,840	14.0
鉱産品	九州	発着	67,847	2,333	20,410	8,086	892	11,104	221	171	132	111,197	736,106	15.1
		着	67,847	933	3,446	812	418	517	72	29	330	74,405	736,106	10.1
金属機械工業品	九州	発着	70,762	519	6,236	9,919	8,421	5,273	74	25	475	101,703	868,712	11.7
		着	70,762	298	3,521	4,615	4,903	7,111	101	212	175	91,698	868,712	10.6
化学工業品	九州	発着	74,584	1,170	2,702	3,103	2,452	3,436	729	97	539	88,812	820,600	10.8
		着	74,584	2,296	11,797	2,565	963	1,180	12	32	9	93,439	820,600	11.4
軽工業品	九州	発着	44,099	506	2,349	647	416	859	15	14	744	49,650	572,751	8.7
		着	44,099	1,528	1,272	448	502	670	0	3	53	48,576	572,751	8.5
雑工業品	九州	発着	31,176	854	1,455	588	140	554	36	0	94	34,899	332,198	10.5
		着	31,176	778	965	1,149	198	621	0	0	59	34,947	332,198	10.5
特種品	九州	発着	108,264	337	1,574	4,695	467	2,644	25	2	965	118,972	1,197,332	9.9
		着	108,264	695	1,187	7,863	2,123	2,655	126	21	85	123,019	1,197,332	10.3
その他	九州	発着	383	40	89	364	565	948	118	82	1	2,590	23,732	10.9
		着	383	30	156	616	974	1,439	235	220	3	4,057	23,732	17.1
合計	九州	発着	440,612	6,275	35,542	28,094	13,875	25,115	1,265	392	3,294	554,464	4,926,687	11.3
		着	440,612	6,681	22,704	18,498	10,514	15,063	552	559	730	515,912	4,926,687	10.5

資料：国土交通省「貨物地域流動調査」(調査対象貨物等詳細については、「貨物地域流動調査の概要」を参照のこと)

- 注) 1. 航空貨物輸送量は含まない。
 2. 四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。
 3. 鉄道コンテナは「その他」に計上している。

(4) 九州の鉄道貨物輸送量の推移

項目 地域 年度	輸送トン数(千トン)				貨物トンキロ(百万トンキロ)			
	九 州		全 国		九 州		全 国	
		指 数		指 数		指 数		指 数
45	30,630	100	198,503	100	3,476	100	62,435	100
	(15.4)				(5.6)			
50	20,803	67.9	141,691	71.4	2,437	70.1	46,577	74.6
	(14.7)				(5.2)			
55	18,410	60.1	121,619	61.3	2,000	57.5	39,961	64.0
	(15.1)				(5.0)			
60	9,981	32.6	68,552	34.5	930	26.8	21,625	34.6
	(14.6)				(4.3)			
2	7,613	24.9	59,346	29.9	867	24.9	26,725	42.8
	(12.8)				(3.2)			
7	6,733	22.0	76,932	38.8	759	21.8	25,101	40.2
	(8.8)				(3.0)			
12	5,762	18.8	59,274	29.9	718	20.7	22,136	35.5
	(9.7)				(3.2)			
17	5,663	18.5	52,473	26.4	719	20.7	22,813	36.5
	(10.8)				(3.2)			
20	5,534	18.1	46,225	23.3	693	19.9	22,256	35.6
	(12.0)				(3.1)			
21	5,079	16.6	43,251	21.8	619	17.8	20,562	32.9
	(11.7)				(3.0)			
22	5,172	16.9	43,647	22.0	623	17.9	20,398	32.7
	(11.8)				(3.1)			
23	5,178	16.9	39,886	20.1	632	18.2	19,998	32.0
	(13.0)				(3.2)			
24	5,226	16.9	42,340	21.3	629	18.1	20,471	32.8
	(12.3)				(3.1)			
25	5,512	18.0	44,101	22.2	670	19.3	21,071	33.7
	(12.5)				(3.2)			
26	5,530	18.1	43,424	21.9	681	19.6	21,029	33.7
	(12.7)				(3.2)			
27	5,673	18.5	43,210	21.8	684	19.7	21,519	34.5
	(13.1)				(3.2)			
28	5,724	18.7	44,089	22.2	664	19.1	21,265	34.1
	(13.0)				(3.1)			
29	6,004	19.6	45,170	22.8	685	19.7	21,663	34.7
	(13.3)				(3.2)			
30	4,342	14.2	42,321	21.3	511	14.7	19,369	31.0
	(10.3)				(2.6)			

資料:国土交通省「鉄道輸送統計年報」

(注):()内の数字は全国比

(5) 外航海運

(ア) 輸出入貨物量の推移(県別(港別))

(単位:千トン)

輸出入 年 県・港	輸 出					輸 入				
	25	26	27	28	29	25	26	27	28	29
福 岡	19,629	19,864	20,039	20,791	22,612	40,890	40,198	39,040	37,998	39,065
北九州	7,526	6,967	7,280	7,215	7,385	26,190	25,718	26,022	25,139	25,051
博 多	6,504	7,233	6,812	7,062	7,658	11,406	11,260	10,159	10,317	11,137
苅 田	5,458	5,521	5,824	6,389	7,453	1,651	1,701	1,747	1,731	1,917
三 池	140	143	123	126	116	968	1,053	909	812	960
佐 賀	111	121	148	138	201	518	568	596	597	662
唐 津	58	37	30	29	39	232	237	251	269	268
伊万里	54	84	118	109	162	286	331	345	328	394
長 崎	431	380	585	452	501	9,778	8,306	8,699	8,640	10,608
長 崎	75	97	125	113	78	285	345	178	159	223
佐世保	19	-	76	26	19	232	277	198	270	262
熊 本	223	235	356	424	357	1,584	1,804	1,719	1,850	1,880
三 角	13	8	9	8	15	4	4	3	3	3
八 代	166	177	293	344	277	1,449	1,602	1,464	1,665	1,669
水 俣	-	4	6	12	7	70	115	151	96	89
熊 本	44	45	48	60	57	61	83	101	86	120
大 分	11,103	10,418	11,963	12,241	10,914	38,509	37,156	37,853	36,156	34,575
大 分	7,656	6,544	7,808	7,306	6,555	36,598	35,102	35,816	33,574	32,106
佐賀関	1,467	1,707	1,577	1,712	1,259	1,282	1,471	1,246	1,488	1,116
津久見	1,959	2,123	2,495	3,160	2,996	544	499	705	955	1,059
佐 伯	13	33	57	47	73	82	79	59	135	289
宮 崎	188	223	233	198	209	2,700	1,829	2,659	2,242	2,184
細 島	141	196	203	165	177	2,017	1,213	2,040	1,657	1,529
油 津	37	22	20	20	20	671	604	610	576	645
宮 崎	10	6	8	10	8	-	-	-	-	-
鹿 児 島	386	348	377	365	487	31,812	30,997	33,575	35,011	33,754
鹿児島	5	5	15	36	18	1,208	1,154	1,551	1,101	1,293
喜 入	107	-	-	-	-	26,316	25,532	27,116	29,809	27,920
志布志	166	232	244	247	309	3,504	3,403	3,526	3,266	3,470
川 内	109	111	116	61	109	700	803	798	738	794
名 瀬	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
山 口	12,300	11,980	12,720	11,733	12,690	34,850	30,918	32,928	31,137	32,798
下 関	1,592	1,424	1,376	1,076	1,360	1,296	1,217	1,227	1,336	1,425
宇 部	2,853	2,817	3,076	2,927	2,967	12,053	11,808	13,246	11,131	12,513
小野田	122	97	98	92	104	15	6	-	7	5
計	44,371	43,569	46,420	46,340	47,971	160,641	151,776	157,069	153,631	155,526
計(百万トン)	44	44	46	46	48	161	152	157	154	156
全国	290,000	287,000	293,490	286,768	289,649	1,001,000	989,000	959,829	951,708	962,595
全国(百万トン)	290	287	293	287	290	1,001	989	960	952	963
対比(%)	15.3	15.2	15.8	16.2	16.6	16.0	15.3	16.4	16.1	16.2

資料:国土交通省「港湾統計年報」

注) 1. 港は各県の主要港湾

2. 全国・各県の数値は、港湾統計上の甲種港湾と乙種港湾の合計で

3. 自動車航送船を含む。

(6) 内航海運

(ア) 移出入貨物量の推移(県別・港別)

(単位:千トン)

年 移出 県・港	25			26			27			28			29		
	移出	移入	計	移出	移入	計	移出	移入	計	移出	移入	計	移出	移入	計
福岡	33,627	39,004	72,631	33,608	39,927	73,535	31,840	37,479	69,319	29,665	36,269	65,934	30,302	37,507	67,810
北九州	13,355	15,007	28,362	13,023	15,314	28,337	12,406	13,957	26,363	10,115	13,091	23,206	10,399	13,538	23,937
博多	3,709	16,033	19,742	4,095	11,219	15,314	3,522	10,837	14,359	3,326	10,625	13,952	3,480	10,965	14,445
苅田	16,321	11,818	28,139	16,263	11,699	27,962	15,711	10,966	26,676	16,007	11,167	27,173	16,165	11,674	27,839
三池	110	929	1,039	100	892	992	95	908	1,003	73	872	944	114	913	1,027
佐賀	377	2,352	2,729	518	2,409	2,927	408	2,409	2,817	479	1,947	2,426	564	1,980	2,544
唐津	150	1,492	1,642	217	1,483	1,700	178	1,573	1,751	197	1,127	1,323	340	1,149	1,489
伊万里	130	850	980	210	913	1,123	146	823	969	209	809	1,018	160	821	981
長崎	2,606	6,762	9,368	2,771	7,233	10,004	2,668	6,701	9,369	2,588	6,538	9,126	2,993	6,969	9,962
長崎	360	1,224	1,584	504	2,409	2,913	452	1,282	1,734	457	1,329	1,785	554	1,366	1,920
佐世保	133	1,666	1,799	293	1,900	2,193	286	1,524	1,811	197	1,061	1,258	146	996	1,142
熊本	807	3,529	4,336	701	3,348	4,049	627	2,987	3,615	711	3,308	4,019	927	3,496	4,423
三角	347	88	435	303	73	376	146	67	213	291	48	339	432	69	501
八代	162	2,194	2,356	125	2,116	2,241	123	2,022	2,145	112	2,187	2,300	211	2,284	2,495
水俣	10	67	77	10	71	81	11	60	71	17	47	64	14	45	60
熊本	140	542	682	154	605	759	139	422	561	169	533	702	169	533	702
大分	37,582	11,558	49,140	38,660	11,480	50,140	34,879	10,424	45,303	34,975	12,357	47,332	36,202	12,532	48,734
大分	15,594	6,930	22,524	15,956	6,974	22,930	15,019	6,701	21,720	15,006	7,804	22,810	15,920	7,687	23,607
佐賀関	774	258	1,032	793	297	1,090	678	252	930	824	253	1,077	636	214	850
津久見	18,756	1,449	20,205	19,383	1,479	20,862	16,860	1,294	18,154	16,163	1,365	17,528	16,630	1,434	18,064
佐伯	250	410	660	224	350	574	177	264	441	142	235	376	120	234	354
宮崎	1,526	4,216	5,742	1,518	4,286	5,804	1,474	3,862	5,336	1,528	3,490	5,019	1,417	3,636	5,053
細島	921	1,346	2,267	916	1,259	2,175	866	1,191	2,057	972	1,070	2,041	3,636	1,165	4,800
油津	234	625	859	247	639	886	256	681	937	220	524	745	211	532	743
宮崎	255	1,739	1,994	252	1,825	2,077	262	1,443	1,705	265	1,313	1,577	285	1,399	1,684
鹿児島	30,490	9,065	39,555	29,400	8,605	38,005	29,821	8,198	38,020	34,252	7,743	41,994	32,888	8,548	41,436
鹿児島	1,148	3,743	4,891	1,197	3,596	4,793	1,321	3,407	4,728	1,326	3,418	4,744	1,342	3,602	4,944
喜入	26,582	42	26,624	25,648	7	25,655	26,037	1	26,038	30,214	2	30,216	29,148	1	29,149
志布志	912	609	1,521	689	723	1,412	687	700	1,386	759	677	1,436	757	912	1,670
川内	153	1,278	1,431	140	1,003	1,143	98	753	851	124	428	552	86	473	559
名瀬	125	321	446	134	342	476	104	317	421	131	339	470	135	351	486
山口	40,016	28,696	68,712	35,804	28,529	64,333	36,519	29,542	66,062	34,620	28,262	62,882	36,682	30,598	67,280
下関	797	1,537	2,334	650	1,389	2,039	622	1,322	1,944	709	1,007	1,716	650	1,208	1,859
宇部	15,903	2,958	18,861	15,676	2,894	18,570	15,334	2,738	18,072	13,931	2,881	16,812	14,951	3,039	17,991
小野田	665	3,079	3,744	654	2,741	3,395	723	3,362	4,084	631	3,048	3,679	622	2,972	3,594
計	147,031	105,182	252,213	142,980	105,817	248,797	138,237	101,603	239,840	138,818	99,914	238,732	141,976	105,265	247,241
計(百万トン)	147	105	252	143	106	249	138	102	240	139	100	239	142	105	239
全国	519,000	503,000	1,022,000	516,000	504,000	1,020,000	499,727	496,285	996,011	495,999	489,570	985,570	504,825	497,009	1,001,835
全国(百万トン)	519	503	1,022	516	504	1,020	500	496	996	496	490	986	505	497	986
対比(%)	28.3	20.9	24.7	27.7	21.0	24.4	27.7	20.5	24.1	28.0	20.4	24.2	28.1	21.2	24.7

資料:国土交通省「港湾統計年報」

注)1. 港は各県の主要港湾

2. 全国、各県の数値は、港湾統計上の甲種港湾と乙種港湾の合計である。

3. 自動車航送船は含まない。

〔３〕 九州地方交通審議会

（１）概 要

○ 機 関

九州運輸局の附属機関

○ 設置時期

昭和 59 年 7 月 1 日

（昭和 45 年 5 月 20 日に福岡陸運局の附属機関として設置された福岡地方陸上交通審議会が、運輸省の組織改編により陸運局及び海運局が統合されたことに伴い、九州運輸局の附属機関に移行したものである。）

○ 所掌事務

九州運輸局長の諮問に応じて、九州運輸局の所掌事務に関する重要事項を調査審議し、及びこれに関し必要と認める事項を関係行政機関の長に建議すること。

船員法(昭和二十二年法律第百号)、最低賃金法(昭和三十四年法律第百三十七号)及び船員職業安定法(昭和二十三年法律第百三十号)(以下、「船員法等船員関係法令」という)の規定により九州地方交通審議会に属せられた事項を処理すること。

○ 構成員

委員は、学識経験のある者のうちから、国土交通大臣が任命する。

また、臨時委員は、学識経験のある者、関係行政機関の職員又は関係地方公共団体の長若しくはその職員のうちから、国土交通大臣が任命する。

以上の他、専門の事項を調査するため必要があるときは、学識経験のある者のうちから専門委員を運輸局長が任命する。

○ 組 織

従来、九州運輸局においては、九州地方交通審議会の場を利用し、各県単位で部会を設けて地域交通計画を策定してきたが、平成 14 年 6 月に各県部会を廃止し、九州ブロック全体としての広域的な視点から交通や観光の施策を審議する本審議会のみ設置している。

また、国土交通省設置法等の一部改正により、平成 20 年 10 月 1 日から船員施策に係る重要事項及び船員法等船員関係法令に基づく調査審議等を行う船員部会を設置している。

（２）活動状況

○ 地域交通計画等の策定

第 85 回国会(昭和 53 年 10 月 18 日)の衆議院運輸委員会決議において、「地方陸上公共交通事業の経営が悪化し、その維持が困難となっている現状にかんがみ、地域住民の輸送需要に適応した地方陸上公共交通の維持整備を図るため、政府は、安定的な財源の確保をはじめとする総合的な施策を確立し、速やかに所要の立法行財政措置を講ずべきである。」とされたことを契機として、各県における公共交通機関の維持整備に関する計画(地域交通計画)を策定、改定を行ってきた。

また、地域の意向を的確に把握し、これを行政に十分反映させることにより、地域の実情に即した地域交行政を一層推進するため、昭和 60 年度より各県単位の部会を常設してきたが、今後の九州新幹線鹿児島ルートの開業や東九州自動車道をはじめとする高規格幹線道路の整備進展など公共交通サービスの維持、充実や観光のあり方をより広域的な観点から捉えるべき必要性が生じたため、平成 14 年 6 月末をもって、各県単位の部会は廃止となった。

○ 九州ブロック交通・観光計画の策定九州各県における地域交通計画については、平成 13 年度末までに

概ね同計画の策定及び改訂が完了するに至った。しかしながら、その後の交通事業を取り巻く環境の変化として、平成 14 年 2 月までに全てのモードの公共交通に係る事業において需給調整規制が撤廃されたほか、我が国は、少子高齢化、環境問題の深刻化、地方の過疎化、情報技術の飛躍的發展等さまざまな経済社会の変化に直面している状況等を踏まえ、九州ブロック一体として、今後の交通・観光政策のあり方について一定の方向性を指し示すための審議を行うこととなった。九州地方交通審議会では、総合交通部会及び観光部会で検討を行い、第 10 回九州地方交通審議会において、「九州ブロックにおける今後の交通・観光政策のあり方について」の答申に至った。

・九州ブロックにおける今後の交通・観光政策のあり方について

○諮問 平成 15 年 3 月 10 日	○答申第 10 号 平成 17 年 3 月 7 日	
○第 11 回九州地方交通審議会	平成 18 年 6 月 20 日	
○第 12 回九州地方交通審議会	平成 20 年 3 月 10 日	
○第 13 回九州地方交通審議会	平成 21 年 3 月 4 日	
○第 14 回九州地方交通審議会	平成 23 年 3 月 2 日	※ 中間整理について議論
○第 15 回九州地方交通審議会	平成 24 年 3 月 23 日	※ 九州新幹線開業に伴う交通、観光の変化等
○第 16 回九州地方交通審議会	平成 25 年 3 月 21 日	※ 九州新幹線開業に伴う交通、観光の変化等
○第 17 回九州地方交通審議会	平成 26 年 3 月 7 日	※ 九州新幹線鹿児島ルート全線開業 3 年間のまとめ等
○第 18 回九州地方交通審議会	平成 27 年 6 月 1 日	※ 交通政策基本法に基づく「交通政策基本計画」の推進にあたって、九州における課題等の解決の方策等について

○ 各部会の開催状況

九州ブロックにおける今後の交通・観光政策のあり方について審議するため、審議会の下に二つのテーマ別部会(総合交通部会・観光部会)を設置し検討を行った。

また、船員施策に係る重要事項及び船員法等船員関係法令に基づく調査審議等を行うため、平成 20 年 10 月 1 日から審議会の下に船員部会を設置した。

各部会の開催状況は、次のとおりである。

・総合交通部会 第 1 回 15.6.30
第 2 回 15.11.5.
第 3 回 16.2.23
第 4 回(最終) 16.11.19(部会報告)

・観光部会 第 1 回 15.7.25
第 2 回 15.12.11
第 3 回 16.3.23
第 4 回(最終) 16.11.19(部会報告)

・船員部会 毎月一回開催されることになっており、令和元年においては 12 回開催され、また、最低賃金専門部会についても 5 回開催された。

〔4〕 地域公共交通確保維持改善事業について〔平成 23 年度からの新規事業〕

「地域公共交通確保維持改善事業」は、存続が危機に瀕している生活交通について、地域特性に応じ効率的に確保・維持されるために必要な支援を行うとともに、移動に当たってのバリアがより解消されるために必要な改善に対する支援等を一体的に行うものである。

なお、平成 24 年度からは、地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業)から移行したフィーダー系統含む。

また、地域間幹線系統、離島航路及びバリアフリーに係る地域公共交通確保維持改善事業については、各モードにて掲載。

各年度の申請協議会(市町村)の件数

	調査事業	地域内フィーダー系統確保維持事業		
		計画認定数	運行事業者数	系統数
平成 24 年度	20	57	99	459
平成 25 年度	15	72	119	518
平成 26 年度	10	82	130	642
平成 27 年度	23	90	146	780
平成 28 年度	35	93	152	796
平成 29 年度	33	96	161	859
平成 30 年度	31	101	172	899
令和元年度	20	105	181	952